

津軽みらいの わらしこ

平川市金屋

ひろき
小野 寛樹 くん(6歳)
なおと
直人 くん(3歳)

小野 寛将さん・郁子さん 夫妻の子供
組合員名：小野 智栄さん

どのような、お子さんですか？

寛樹くん：優しくて頑張り屋

直人くん：甘えん坊でマイペース

お気に入り

寛樹くん：ポケモン、マイクラフト

直人くん：虫、魚、動物

好きな食べ物

2人とも果物、めん類、ピーマンが好き



■津軽みらいのわらしこ募集中！

お子様・お孫様の写真を広報誌に掲載しませんか？

写真掲載のご希望は、☎0172-44-6081（総務課：広報係）へお気軽にご連絡下さい。

- 掲載条件 ・年齢は0歳～12歳(小学生まで)
- ・原則当JAの組合員または准組合員のご家族であること

文芸の広場

短歌

北朝鮮弾道ミサイル発射し
本県通過アメリカ目指してか
英国の母なる女王逝去され
帆柱失い心境いかに
置き去りに暑さ増す増すバスの中
幼き命無残に散りぬ
二歳児のはるかな冒険歩み出し
誰にも見られず来世への旅路
野の花の目立ちはせぬがねじ花の
雑草に負けずけなげに咲いてる
山峡の棚田の稲穂刈り終えて
風爽やかに収穫の秋
雀さえ見向きもしない案山子かな
役目を終えて小屋に引越し
赤いりんごその枝の先かれ花
四・五輪集まり季節外に咲く
公孫樹幹の上にまだ葉残りし
樹木に落ちぬと根雪にならずと
小春日和蜻蛉飛び交い大根干し
人も忙しく冬仕度急ぐ
宅配でりんご送れば電話来る
それが楽しみ爺と婆かな
コロナ禍で誰も訪ねる人もなく
紅葉狩行きたいけれど忙しくて
りんご畑が我を呼び止めて
夕暮れも大分早くなった今
車の明かり早目に灯す
りんご畑急な霧に驚いた
りんごに影響なければ良いが
工藤キヌエ
秋風に老ける背中を押されつつ
明日の希望に歩む毎日
ふるさとが懐かしくなる秋の空
ともに手紙を書いてみようか
冬田道歩めばにこり地蔵様
今日一日に感謝し合掌
鯛焼をポケットに入れば
どこで食べようかなと妻と語りぬ
小田慶喜

川柳

橡餅の味懐かしきあの店を
訪ねてみたき秋風の中
干柿のオレンジ色が夕日へと
手を振っているやうな里山
冬服にまだ慣れぬ身のぎこちなく
歩む園児の元気なる声
粕汁のリクエストへと困るのは
どこの蔵元などの質問
小田和子
テレビ見る心の訴え無視される
ときどきはカメムシになる聞く力
永田町霊感「カワウソ」屯する
収穫日光り輝くはれわたり
清々しいと言えないです国葬の日
寛蓮坊
選挙戦あの人辞めて出番きた
年重ね口先だけは立派です
物価高安い弁当で間に合わせ
年寄りも休む暇無し冬来たる
長生きをしても良いやら悪いやら
工藤キヌエ
こんばんは声をかけたら案山子さん
渡り鳥見て旅したくなるころ
どうしても炬燵の魔力には勝てぬ
文化の日二句が絞り出ぬ苦惱
小田慶喜
熊さんに出会いたくない茸狩り
ドングリがコロコロ転がるトタン屋根
何種類入れていますかおでんの具
焚き火へとうわさ話が集合中
小田和子
俳句
錦秋の奥入瀬をゆく老夫婦
秋晴の十和田に旅をしたき空
風音の増す鋭さや冬来る
老ゆる目に涙のやうな冬の星
小田慶喜
今秋のこぞしたやうな里の道
刈田へと遊びし子らの笑ひ声
振り返る冬めく里の鳥のこゑ
風のまた叩き去るドアと窓
小田和子
湯上りの香る浴衣で春仰ぐ
船水良昭

投稿される皆様へ
短歌、川柳など毎月の投稿ありがとうございます。
クローズドクイズ応募用紙と同じ住所へ投稿してください。(JA津
軽みらい文芸広場宛)また、読みつづは必ずフリガナをお願い
します。次回は1月に掲載となります。よろしくお願ひします。